北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光学Ⅰ	科目コード	1215	単位数	3
担当者名	千葉　里美	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	C.D	実務経験	無
ナンバリング	lTo401	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

多くの分野に関連する「観光学」の構造と活動は、大別して「観光と社会の関わり」「人間生活における観光」「観光を支えるシステム」にわけられる。本科目「観光学I」は「観光学II」と連続した科目で設計しており、観光学の基礎と多面性を理論と具体例から理解し、観光学の専門的な学びの土台をつくることを狙いとしています。
そこで、「観光学I」は、前述の「観光と社会の関わり」「人間生活における観光」部分について取り扱います。

到達目標

(1)観光学の「観光と社会の関わり」「人間生活における観光」に関する基礎的な概念、定義、典型的な観光現象の理論について理解できるようになる。
(2)観光の現場や学術において使われるキーワードについて理解できるようになる。
(3)現代観光の現状・課題・展望について意見を持つことができるようになる。

授業内容

1週目 ガイダンス、観光の現在
2週目 観光の概念、観光の基本的構造と構成要素
3週目 観光の世界史、観光の日本史
4週目 観光の諸制度
5週目 国際観光政策
6週目 4週・5週に関係するゲストスピーカー講話・グループワーク
7週目 観光の効果と影響
8週目 小テスト
9週目 観光と資源、観光と文化
10週目 9週に関係するゲストスピーカー講話・グループワーク
11週目 観光と経済、観光と地域社会
12週目 観光と情報
13週目 12週に関係するゲストスピーカー講話・グループワーク
14週目 観光と開発・環境
15週目 授業内レポート
16週目 15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習:次週授業内容に関係するオリジナル資料を用意します。予習学習として事前に目を通し授業に臨んでください。(60分)
復習:授業終了後、LMSに授業内容を踏まえた課題を公開します。各自、講義内容を振り返り、指定された方法に提出してください。(60分)

成績評価の方法・基準

小テスト(30%)
各種課題(50%)
授業内レポート(20%)

履修上の留意点

・授業に関するお知らせは、LMSから行います。常に確認をしてください。
・私語や遅刻等で注意を受けて改善しない者は、不合格となることがあります。
・授業内で扱う映像資料も期末試験として扱います。
・授業内でPCを使用したグループワークや個人ワークがあります。PCや筆記用具を必ず持参してください。(ipad等でも可)
・成績評価は、原則全講義の2/3(30回以上)以上出席した学生のみ対象とする。
・本科目では、ゲストスピーカーの登壇を用意しています。授業マナーや主体性を持って履修してください。

課題に対するフィードバックの方法

各種課題に関しては、解説を含めをフィードバックします。
期末授業内レポートに関しては、実施後、採点におけるポイントをLMSにて配信します。

テキスト

特になし。必要に応じて資料を配布する。

参考書

前田勇編著『新現代観光総論 第３版』(学文社)2,640円
岡本伸之編『観光学入門 ポスト・マスツーリズムの観光学』(有斐閣アルマ)2,530円
遠藤英樹編著『アフターコロナの観光学』(新曜社)2,860円

更新日付

2026/01/30 01:06